

TAを上手に使ってください

時間は限られた資源であることを認識する

- ▶ 人に助けってもらうことは必ずしも悪いことではない
- ▶ 1時間かけて独力で解決するよりも、人に教えてもらって3分で解決する方がよい場合もある

1. TAに質問する

2. 解決しないときは教員に質問する

- ▶ 質問をする練習
- ▶ 回答の確度を判断する練習
 - TA(や教員)の回答は間違っていることもある

ベア・プログラミング

プログラミング作法 第5章 p.173

自分のコードを他人に説明してみよう。自分のコードを誰かほかの人に説明して聞かせるのも効果的なテクニックだ。こうすると自分自身インバグが見えてくることが多い。場合によっては説明し始めた途端に気がついて「あ、もういいや、変なところがわかったよ。ごめん、ごめん」などと言って照れくさい思いをすることもある。このテクニックは意外なほど有効だし、聞き手は別にプログラマでなくてもかまわない。

ベア・プログラミング

ある大学の計算機センターのヘルプデスクのそばには
テディベアのぬいぐるみが常備されており，摩訶不思議な
バグに悩む学生は，人間のスタッフに相談する前にぬいぐるみに
向かって説明しなければならないこと
になっていた。



コンピュータさんになったつもりで

数学ガール 乱択アルゴリズム p.27

「ええとですね、村木先生によりますと……………自分がコンピュータさんになったつもりになって、アルゴリズムを実行するのがよいのだそうです。

- ・私はコンピュータだ、と唱える。
- ・アルゴリズムと入力を与えられたぞ、と考える。
- ・そして、手続きを一步一步、愚直に実行していく。

……………めんどうに思えても、そのようにするのがアルゴリズムを理解する最もいい方法なのだそうです」

プログラミング作法

Brian Kernighan (著)

Rob Pike (著)

福崎俊博 (翻訳)

アスキー

数学ガール 乱択アルゴリズム

結城浩 (著)

SB クリエイティブ